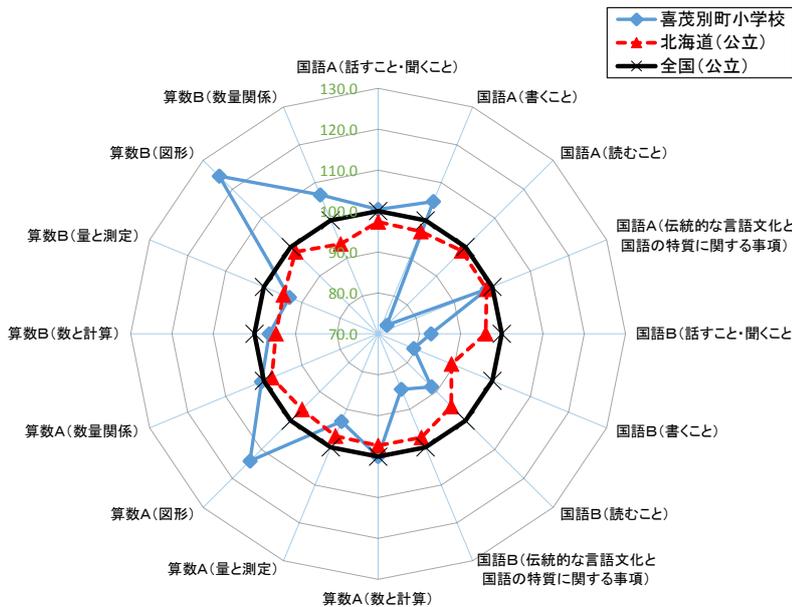


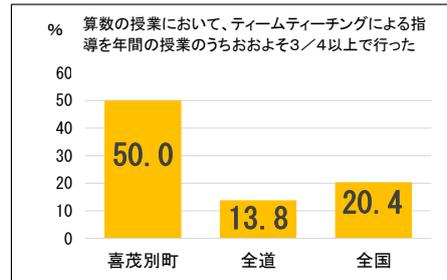
■ 喜茂別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:11名)

【教科全体の状況】

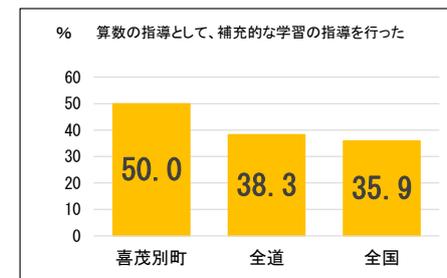
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



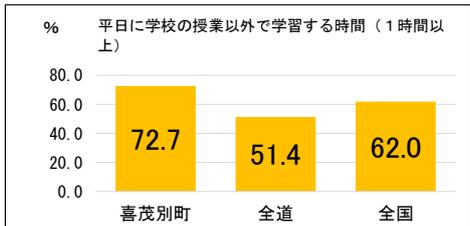
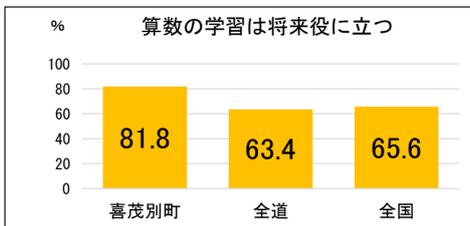
【学校質問紙調査】



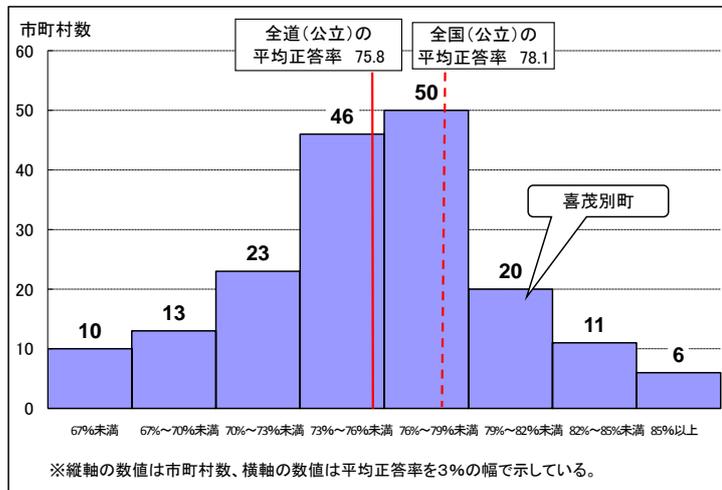
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【平均正答率(算数A)の度数分布】



【分析】

教科	○ 算数A・Bにおける「図形」「数量関係」、国語Aにおける「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国、全道平均を上回っている。	○ 学校における補充的な学習指導の充実や、学校の授業以外に学習する時間の確保により、算数Aにおける平均正答率が全国、全道を上回っていると考えられる。
児童質問紙	○ 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した児童の割合が全国を上回っている。 ○ 家で学校の授業の復習をしていると回答した児童の割合や、平日に学校の授業以外で1時間以上学習すると回答した児童の割合が全国を上回っている。	○ 算数の授業における、チームティーチングによる指導により、個に応じた指導の充実が図られ、算数の学習は将来役に立つと思う児童が多くなってきていると考えられる。
学校質問紙	○ 算数の授業において、チームティーチングによる指導を年間の授業のうちおよそ3/4以上で行った学校の割合や補充的な学習の指導を行った学校の割合が全国、全道を上回っている。	

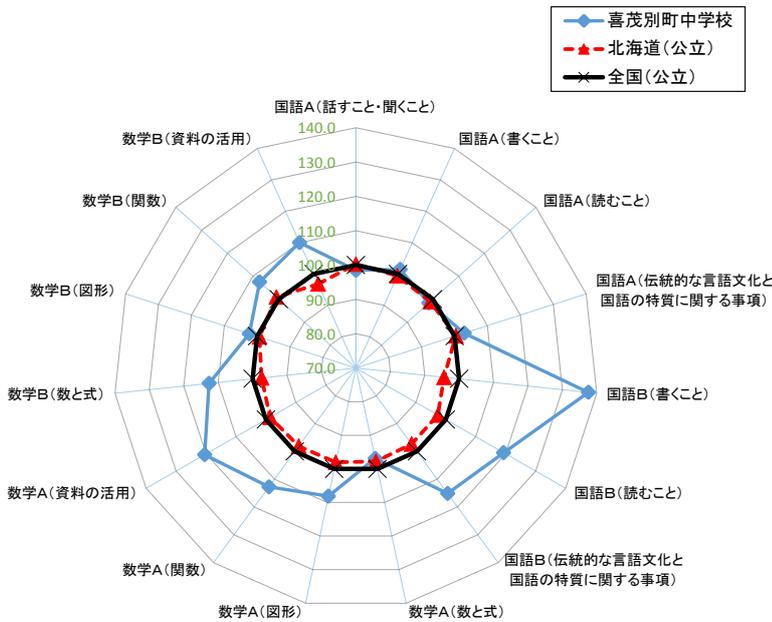
【喜茂別町の学力向上策】

- ◎ 学習規律の徹底や生徒指導の機能を生かした授業改善
- ◎ 習熟度別少人数指導による個に応じたきめ細かな指導
- ◎ 実物投影機等のICT機器の効果的な活用による基礎・基本の定着

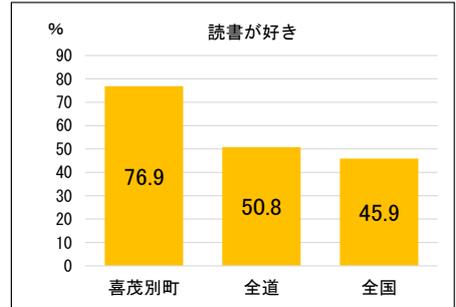
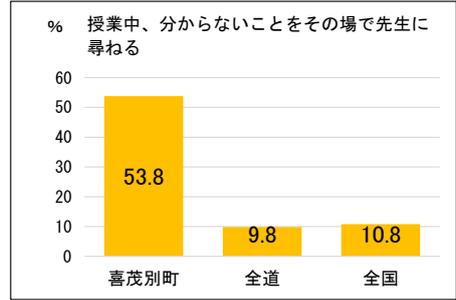
■ 喜茂別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:13名)

【教科全体の状況】

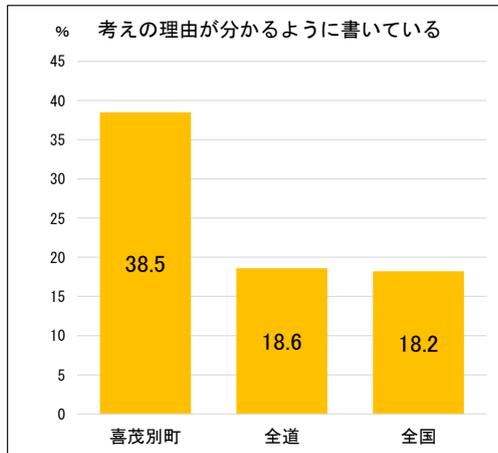
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



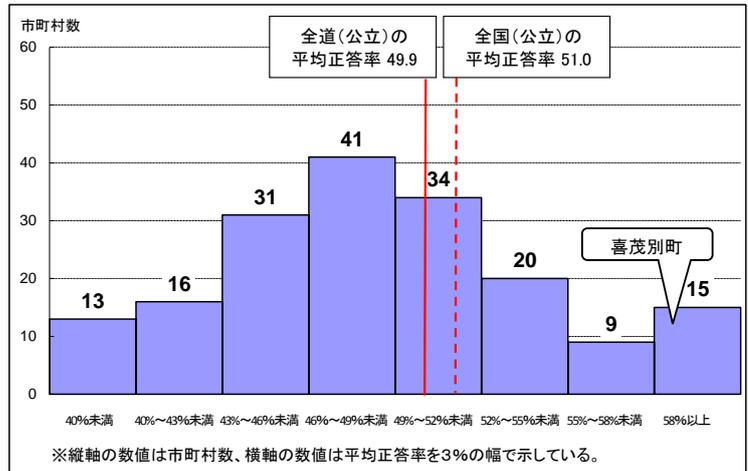
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【平均正答率(国語B)の度数分布】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・B「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語B「読むこと」で全国、全道を上回っている。 ○ 数学A・B「図形」「関数」「資料の活用」、数学B「数と式」で全国、全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校で、言語活動の充実を図った授業や補充的な学習の指導を行ったことにより、国語Bの平均正答率が全国、全道を上回り、考えの理由が分かるように書いている生徒の割合が高くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書を好きと回答した生徒や新聞を読んでいると回答した生徒の割合が全国、全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校で、放課後や長期休業中の補充学習などの基礎・基本の定着を意識した指導を行ったことにより、分からないことをそのままにせず、その場で聞く生徒の割合が多くなってきていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「朝の読書」などの一斉読書や、「書く習慣を付ける授業」を行っている。 	

【喜茂別町の学力向上策】

- ◎ 学習規律の徹底や生徒指導の機能を生かした授業改善
- ◎ 放課後や長期休業中の補充学習や個に応じたきめ細かな指導
- ◎ 実物投影機等のICT機器の効果的な活用による基礎・基本の定着